※令和４年度以降入学生用

学校番号	309

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　ON！１　（音楽之友社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歌唱（独唱・合唱）、創作（作詞作曲・リズム創作）、器楽（ギター・キーボード・ハンドベル）、鑑賞等の様々な分野を幅広く学びます。
個人での実技試験に加え、グループによる練習や発表、ワークシート、感想文等によって評価をします。
音楽的な知識や技能の向上に加え、曲想から思い起こしたことや感じたことを言葉で表現する力も身に付けてもらえればと思います。

２　学習の到達目標

（１）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（２）自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
（３）主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	楽譜を正しく読む力を養うとともに、幅広い音楽活動を通して、各楽器の持つ特徴や奏法、発声方法についての知識を深める。	楽譜から得た情報を基に、自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫する力を養う。	幅広い音楽活動に主体的・協働的に取り組み、他者と協力して音楽を作り上げる喜びを味わう。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	歌唱	本校校歌	a:音程、強弱記号など、楽譜を正しく読み取ることが出来ている b:楽譜に書かれていることを基に、譜面に沿った表現が出来ている c:言葉の特性や曲種に応じた発声方法を模索し、積極的に歌唱に取り組んでいる	実技試験 授業観察	グループワーク 実技試験	発言 授業観察 ワークシート
	創作	リズム創作	a:楽譜に書かれたリズムを正しく読み取り、表現することができている b:様々なリズムを用いて楽譜を作成できている c:与えられたリズムだけでなく、自らのアイデアを基にリズムを創作出来ている	グループ発表	ワークシート	発言 ワークシート、グループワーク
2	器楽	ギター独奏、合奏	a:ギターについての知識を正しく理解している b:音色や楽器の響きに注目し、より良い音で演奏できている。 c:課題を見つけ、課題解決に向けた取り組みが出来ている	実技試験 授業観察	実技試験 授業観察 ワークシート	発言 ワークシート
	鑑賞	ミュージカル	a:「ミュージカル」を構成する要素について正しく理解できている b: 鑑賞を終えて、感じたことや興味のあることについて言葉で表現できている。 c:劇中に登場する様々な歌曲に興味関心を持ち、よさや美しさを自ら味わって聴いている。	ワークシート	グループ発表	感想文
3	器楽	器楽合奏	a:楽譜に書かれたことを理解できている。 b:それぞれの楽器が持つ特徴や音色に注目し、それぞれに沿ったパート分けが出来ている。 c:互いの演奏に耳を傾けながら、積極的に演奏に参加している。	グループ発表 授業観察	グループ発表 授業観察 ワークシート	授業観察 グループ発表
		和楽器	a:箏の楽譜や基本的な奏法について理解できている。 ｂ：箏の音色や響きに注目し、より良い音で演奏できている。 ｃ：互いの演奏に耳を傾けながら、その良さを批評出来ている。	授業観察 実技試験 発言	授業観察 実技試験	感想文

※令和４年度以降入学生用

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度